

岡崎委員（自民議連）

令和2年3月13日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）学びの変革の推進に向けた学校環境の整備について

今までの知識偏重というのは、教科ごとに合理的に区分して縦展開をしていた。しかし、これからの課題発見ということになると、人文、地理、自然科学、そうしたいろいろなものを合わせ技でもって修得しながらそれをどう活用していくかが重要となる。そうするとどうしても教員同士のコミュニケーションが必要となってくる。

県立高校では、みんなが集まるような教員室にしていかなければいけないのではないか。そうした中でコミュニケーションをしっかりとっていく。そうしたものを含めて施設的な改善を、教育長、どのように認識されているか。

（答）

校長を中心に教職員が一体となって学びの変革を推進するためには、教職員間の日常的なコミュニケーションが必要となることから、教職員が準備室等に分散するのではなく、一つの職員室で勤務することが望ましいと考えております。

職員室の整備につきましては、全ての教職員が執務できる広さを有する部屋の確保が必要でございますが、これまでは学校からの要望に応じ、会議室を職員室に転用したり、壁を撤去することにより職員室を拡張するなどの対応を行っているところでございます。

今後、学びの変革を充実していくために、各学校の状況を踏まえながら、教職員間の日常的なコミュニケーションが図られるよう、更なる学校の環境整備に努めてまいりたいと考えております。